

玉里小学校

児童数 44人
所在地 江刺玉里字大松沢 108 ☎2122



玉里は、江刺地域のほぼ中央に位置し、北は梁川・広瀬、東は米里、南は藤里、西は岩谷堂と接し、人首川流域と丘陵地には水田が広がる自然豊かな地域です。その玉里地区のほぼ中央に、昨年度創立145周年を迎えた玉里小学校があります。学区の東西には主要地方道水沢米里線が、南北には県道玉里梁川線が走っており、釜石自動車道江刺田瀬インターチェンジの開設後は、交通量が増加しています。

「た」たくましい子 「ま」まっすぐ素直な子
「さ」最後までがんばる子 「と」ともに学ぶ子

「た・ま・さ・と」を頭文字とした目指す子ども像のもと、「笑顔で登校、感謝で下校」をモットーに、44人の元気な子どもたちで、平成31年度のスタートを切りました。

交通安全1500日運動

昨年5月8日に第8次交通安全1500日運動を無事達成し、現在は第9次の運動を継続中です。本校は、集団登校を基本としており、毎朝地区ごとに決まった場所に集合し、班長、副班長を中心に交通事故に気を付けながら徒歩で通学しています。これまで無事故で登校できているのも、玉里駐在所長さんをはじめ、生活安全部・スクールガード・交通指導隊の皆さんによる見守りのおかげです。



江刺甚句発祥の地・玉里

平成5年に「江刺市郷土芸能伝承活動」の指定を受けて以来、「江刺甚句踊り」の伝承活動を継続しています。踊りはもちろんのこと、歌・太鼓・横笛・鉦・三味線とお囃子の全てを子どもたちが担っていることが特徴です。保存会の皆さんの指導を受けながら練習を行い、12月の引継ぎ会から始まり、保育所との交流会・運動会・敬老会・学習発表会が主な発表の場となっています。回を重ねるごとに上手になっています。



7年連続全国大会出場 ～交通安全子供自転車大会～

玉里小には、江刺甚句と並ぶ伝統活動がもう一つあります。「交通安全子供自転車」の取り組みです。交通安全協会や地域の皆さんの支援をいただき、これまで7年連続で県大会で優勝し、8月に行われている全国大会に出場しています。朝や放課後の時間を使って、安全走行・技能走行の練習や学科の学習に取り組んでいます。



学校通信

玉里保育所との交流会

大きいおもちがとれたよ!

初夏には「サツマイモの苗植え」、秋になると「収穫と焼いも会」、冬には年長さんとの「おもちゃランド」、春には「甚句交流会」と、玉里保育所との交流活動が年間を通じて行われています。



たまさと児童クラブ

昨年4月、校舎の一角に「たまさと児童クラブ」が開設され、丸1年が経過しました。30年度の利用登録者は30人で、毎日の下校後や土曜日、夏・冬・春休みには、異なる年齢の子どもたちが集まって学習したり遊んだり、教室とはまた違った楽しさを感じながら生活しています。



いいところ、知っとこ おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



常盤地区

拠点 常盤地区センター
(水沢台町2番12号 ☎24-4276)

常盤地区は、水沢の東側に位置し、古くはアテルイの郷として、現在は水沢の文教地区として文化会館や図書館、県立産業技術短期大学校などが集まっています。また医療機関や金融機関、大型商業施設などがあり利便性もよく、人口が1万2千人を超える人口増加地区です。

りんりん和鈴の音を鳴らしながら地区内を巡回しています。13町内会や各種団体・組織が参加して、安全安心活動への連携を深めています。

常盤地区では、「安全安心で住みよいまち常盤」を目指し、文化、スポーツ、青少年育成、生活改善、防犯防災など幅広く活動しています。中でも、夏の常盤地区大運動会と秋の常盤まつりは2大イベントとして、住民の連携と交流を深める行事となっています。また、地区センターを活用して、軽スポーツ教室、料理教室、女性学級、ときわ寿大学など各種学級・講座も行っていきます。

「常盤地区大運動会」は、東水沢中学校を会場に毎年夏に開催されます。64回目の開催となった昨年は、全10競技が行われました。青空の下、各町内会の子どもからお年寄りまで力を合わせ、優勝目指して汗を流しました。



常盤地区防犯協会(藤原正美会長)会員を筆頭に、常盤の街を守る「りんりんパトロール」。子どもも参加し、皆で防犯の意識を高めています。平成17年度から続けているこの活動が認められ、昨秋に善行章が授与されました。

2回目の開催となった「常盤まつり」。保育園児のマーチングや定期利用団体のステージ発表、作品の展示、各種屋台など、多くの地区民が集まり大にぎわいとなりました。



県内有数の穀倉地域である常盤。奥伏の戦い跡地である跡呂井地区には、毎年「田んぼアート」が描かれています。昨年は、幼少期を常盤で過ごしたメジャーリーガー大谷翔平選手が、田んぼに浮かび上がりました。



中一弥画「胆沢の合戦」は、789年の奥伏の戦いで、馬上で指揮をとるアテルイとエミシ軍が、朝廷軍を北上川に追い落とす場面を描いています。1980年に河北新報社から市に寄贈されたパネルが、花園町に設置されています。